

# 県士会ニュース



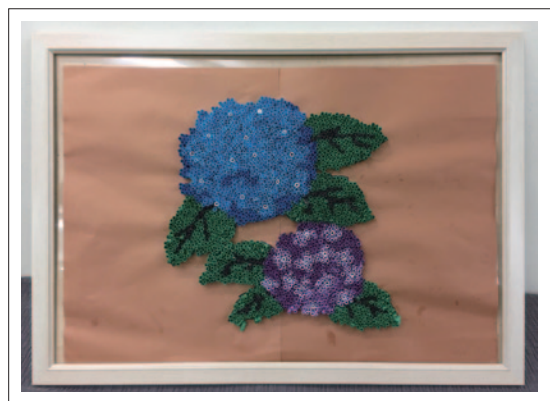
Kanagawa Association of Occupational Therapists —KAOT—

Contents

TOPIC

研修会開催報告 明日から使える環境調整スキル研修 ..... 5  
 第16回神奈川県作業療法学会報告 ..... 16

作品コーナー..... 1	理事会報告..... 13
巻頭言..... 1	求人案内..... 14
第3回神奈川県臨床作業療法大会 演題募集要項..... 3	研修会案内..... 15
各部からの報告..... 6	事務局からのお願い..... 16
連載 生活行為向上マネジメント..... 11	編集後記..... 16
連載コラム ちょっと一杯どうですか?..... 12	



## 作品コーナー

担当作業療法士：武村彩氏（日吉病院）

作品名 あじさい

制作者 h.h様、y.m様、h.n様、k.n様、m.i様、y.h様、k.t様、y.k様

みんなでイラストの中から季節感のある題材を話し合って決めています。これは画用紙を1cm×5cmに切ったものを丸めて作った作品です。このあじさいは濃淡をつけた色を使い合わせたのがポイントです。また、ゆるく巻くと仕上がりに影響が出るため、きつく巻き高さをそろえながら巻いていくことに心がけました。製作期間は4月の終わりから5月中に作り、梅雨時期の掲載に間に合うように作りました。ここ最近一番の大作です！

## 巻頭言

### 2018年7月に 第3回 神奈川県臨床作業療法大会 が 開催されます



第3回神奈川県臨床作業療法大会 大会長  
 横浜 YMCA 学院専門学校 三浦 美紀

早いもので、2017年も残すところ1か月となりました。神奈川県作業療法士会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび第3回神奈川県臨床作業療法大会長に拝命されました三浦美紀と申します。

ご存知のように、神奈川県作業療法士会では、学術大会として1987年に第1回学会が開催されて以降、2011年まで隔年で学会を開催して参りました。神奈川県下の作業療法士有資格者数が1500人を超えた2010年頃から、年一回は学術発表の場が欲しいという会員からの要望があり、2012年からは学会と臨床大会を学術大会という位置づけで毎年交互

に開催しております。臨床大会は、学会よりも運営予算や規模を簡素化し、症例報告を中心とした発表と公開講座がメインプログラムになる小規模の学術大会です。

今回の臨床大会は、「輝く未来を創る」をテーマに開催されます。作業療法士が関わるすべての人々の未来が輝くために、また作業療法士の未来も輝くことができるようにとの願いを込めました。

日本作業療法士協会では、2013年に「第二次作業療法5ヵ年戦略(2013-2017)」を策定し、重点的スローガンを「地域生活移行・地域生活継続支援の推進～作業療法5・5計画～」と挙げました。

これは国の掲げる 2025 年「地域包括ケアシステム」の体制づくりに対応するものです。未来のわが国は、超高齢化社会となり、地域の中で子どもから高齢者までが共に生活するようになります。地域包括ケアシステムが円滑に機能していくためには、年齢や障害のあるなしに関わらず、生活圏内で医療・介護・予防・生活支援が、一体的に提供される必要があります。そこで大切にされるのは個々人の生き方や価値観であり、一律のラインがある訳ではありません。

作業療法士は、あらゆる疾患をお持ちの方や心身機能の低下を抱えている方に対して、文化的背景や価値観の違う一人ひとりの生き方に寄り添い、それぞれの生活行為を大切にします。作業療法士が活動場所を広げていく中、作業療法の専門性や質を問われる場合もありますが、地域の中で暮らすすべての人々に切れ目のない支援を展開し輝けるような生活を工夫していくのは、まさに作業療法士の専門と言えるでしょう。

今大会のプログラムでは、午前公開講座でのシンポジウム、午後は演題発表を予定しています。シンポジウムは、子どもから成人までのライフサイクルに沿い、教育・福祉・医療それぞれの分野で活躍中のスペシャリストをお迎えします。さらに当事者の立場から保護者会の代表の方と、障害者就労を精力的に実践されている企業経営者にもご登壇いただきます。地域で暮らす人々への切れ目のない支援とは何か、解決の糸口を見出していただければ幸いです。演題発表については、ワンホールでの開催ですので、口述発表のみとなりますが、ベテランの方から未来を担う若い世代の方々まで、未来に向けて作業療法士としての質の保障の糧を繋げていきたいと思っております。皆さまとともに、対象者の、そして作業療法士の輝く未来を創りましょう。

運営委員長 横浜 YMCA 学院専門学校 高橋 博美

皆さん、こんにちは。この度第3回神奈川県作業療法大会の広報を担当することになりました、横浜 YMCA 学院専門学校の高橋と申します。臨床作業療法大会は、第一回目が2012年に神奈川県立保健福祉大学で行われ、その後2年に一回開催（2014年はWFOTのため見送り）されている臨床報告を一つの柱とした小規模の学会です。

小規模の学会と申しましたが、今回は横浜銀行本店にあるはまぎんホールヴィアマールという桜木町駅からもほど近い素敵な場所で実現することとなりました。新人の皆さんにとっては華々しい経験の場となることは間違いのないと思います。初めての方もベテランの皆様も、作業療法の未来に向けた演題発表を体験されてみてはいかがでしょうか。

さて、3回目の大会テーマは「輝く未来を創る」という希望にあふれる内容で開催します。午前予定しているシンポジウムのテーマは「気になる子どもたちへの支援の工夫」で、早稲田大学教職実践専攻の教授や横浜市中部地域療育センター所長、親の会「にじの会」代表など、気になるお子様から働く障がいを抱えた方々の支援に携わる方々をお招きします。ここでは率直な意見交換ができる場を設けましたので、積極的にご参加ください。様々な場面で障がい児・者に関わる私達作業療法士が、これからの未来に向けた新たな支援の行方を共に検討する時間を予定しています。

詳しくは、第3回神奈川臨床作業療法大会のHPをご覧ください。こちらは神奈川県士会ウェブサイトからもご覧になれます。皆様ふるってご応募、ご参加ください。



会場 はまぎんホールヴィアマール

## 第3回神奈川県臨床作業療法大会 演題募集要項

### I. 応募資格

筆頭演者（発表者）が神奈川県作業療法士会正会員であることが要件となります。ただし、演題募集の締め切り時点において、筆頭演者が2017年度の神奈川県作業療法士会会費未納者の場合、応募資格がありません。応募前に必ず会費を納入して下さい。

### II. 受付期間

2017年11月1日（水）～ 2018年1月31日（水）

### III. 募集内容と発表形式

#### 1. 募集内容

一般演題（口述発表のみ）

#### 2. 発表形式

- ①口述による発表で、発表時間は7分（質疑応答3分）です。
- ②ビジュアルエイドとしてパソコンとプロジェクター、Microsoft パワーポイントをご用意いたします。発表用データは、事前に「CD-R」に入れて大会事務局に郵送で提出していただきます。当日のデータ差し替えは致しかねますのでご注意下さい。

### IV. 演題内容に関わる倫理的事項について

#### 1. 対象者の同意について

一連の研究過程において倫理的な配慮を十分にとって下さい。また、研究に先立ち、対象者・被験者からインフォームド・コンセントを得るようにして下さい。本文中に対象者の同意についての記載が必須です。また対象者の判断能力低下が考えられる場合（例：重度の認知症者、重度の精神障害者、重度の意識障害者等）は、本人の代理人から承諾が得られた旨を明記して下さい。

#### 2. 倫理審査機関の承認について

研究にあたって、所属先機関の倫理委員会もしくはそれに相当する機関の承認（例：所属長等の承認）を得て下さい。

#### 3. 著作権等への配慮について

原稿に引用文献を明示し、著作権を侵害しないように注意して下さい。

#### 4. 大会長の要請に対する協力について

大会長から、演題内容に関する倫理的配慮に関する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

### V. 応募方法

#### 1. 以下に従って演題応募原稿を作成して下さい。

- ①電子メールにて演題の応募を行なって下さい。
- ②電子メールには以下の次項を記載し、さらに演題抄録原稿ファイル（応募原稿書式ファイルに記載したもの）を添付して送信下さい。  
件名：第3回神奈川県臨床作業療法大会演題応募（氏名）  
内容：1) 筆頭演者氏名  
2) 筆頭演者氏名フリガナ  
3) 筆頭演者の所属機関  
4) 筆頭演者の日本作業療法士協会会員番号  
5) 共同演者氏名  
6) 共同演者の所属機関  
7) 筆頭演者の所属機関の住所（郵便番号も含む）  
8) 筆頭演者の電話番号

※会費未納者（筆頭演者）による応募があった場合、演題は受理されませんので予め御了承下さい。納入状況について不明の場合は、神奈川県作業療法士会事務局へお問い合わせ下さい。神奈川県作業療法士協会事務局 TEL：045（663）5997

#### ①演題応募アドレスは下記の通りです。

演題応募用メールアドレス

[rinsho3rd-entry@kana-ot.jp](mailto:rinsho3rd-entry@kana-ot.jp)

※学会事務局のメールアドレスとは異なりますので  
ご注意下さい。

- ②演題応募の受付完了通知並びに演題採否通知はご応募を頂いたメールアドレスに返信します。よって、携帯電話のメールアドレス等、添付ファイルが開けないアドレスのご使用は控えて下さい。
- ③演題抄録原稿の作成にあたっては原稿作成要領を順守して下さい。

#### 2. 演題受付番号の電子メール受信

演題応募の際に入力いただいた電子メールアドレス宛に演題受付通知を送付します。演題受付通知が1週間を目処に届かない場合は、演題募集用メールアドレスにお問い合わせ下さい。

### VII. 原稿作成要領

- ①抄録原稿のファイルフォーマットはMicrosoftワード（.docまたは.docx）とします（Microsoftワード）。文字化けや体裁が整っていない場合、再提出もしくは実行委員会で許可無く変更する場合があります

ますので予め御了承下さい。原稿書式は指定の「抄録原稿フォーマット」を大会ウェブサイトよりダウンロードし、そのファイルに直接上書きをして使用して下さい。なお、余白、文字の大きさ、フォント等の書式は変更しないで下さい。

- ②原稿は、A4 サイズ 1 ページとします。本文（演題名・筆頭演者・共同演者・所属を除く）は2段の段組で全角 1600 文字程度とします（片段 20 文字 × 40 行 × 2 列）。
- ③表題のフォントは MSP ゴシック 14pt とし、演者ならびに所属先は MSP ゴシック 11pt とし、小見出し MSP ゴシック 10pt とします。また本文は全角文字「MSP 明朝」、半角英数字は「Times New Roman」で、10pt とします。
- ④表題はサブタイトルを入れて 2 行以内とし、演者名・所属先はそれぞれ 2 行となっても構いませんが、表題、演者名・所属先で 7 行以内に収まるよう配慮下さい。演者数については所属先を含め上記規定以内に収まるよう人数を限定して下さい。それ以上の人数を収めるために文字の大きさを変更することは避けて下さい。
- ⑤筆頭演者名の前に○をつけて下さい。また所属についてはフォーマットを参照し、\* 付き文字にて記載して下さい。
- ⑥文字の体裁については、はじめに・目的・方法・結果・考察等の小見出しをつけ、それぞれに 1. 2. 3. …… と番号を振って下さい。
- ⑦句読点は、「,」 「.」 に統一して下さい。
- ⑧入力される文字により文字化け・脱字等の不具合が生じますので、以下の特殊文字（記号）等の使用は、絶対に避けて下さい（半角英数や他の文字で代用して下さい）。  
囲み文字、ローマ文字、単位記号、省略記号（例：

全角の①② I II III i ii iii mm cm km cc m<sup>2</sup>  
睞 炷 鞠 躰 菴 キロ 罌) 等。

- ⑨作成した抄録原稿は、ファイル名を「筆頭演者の氏名」として保存して下さい。  
例) 横浜太郎.docx（※ PC の設定によっては.doc または .docx は拡張子のため表示されていない場合があります）

## VII. 演題採択基準

最終的な採否は以下の演題採択基準に従って、大会長と企画演題委員の協議のもと決定いたします。

1. 演題内容に関わる倫理的事項が遵守されている。
2. 抄録原稿の構成や表現などが適切である。
3. テーマや内容に一定の有用性があり、社会や作業療法の発展に貢献すると判断される。
4. 方法等が具体的に記載されている。
5. 同一、または極めて類似した内容で他学会等において発表されていない。
6. 本学会の「演題募集要領」が遵守されている。

## VIII. 演題採択結果の通知

最終的な「演題採択結果の通知」は、応募から 1 ヶ月を目処に企画演題委員より電子メール（応募時のアドレスに返信）で筆頭演者宛に通知いたします。

## IX. 基礎研修ポイント

本学会にて演題発表を行った場合は、(社) 日本作業療法士協会 基礎研修ポイント 2 ポイントが付与されます。

## X. 大会ホームページからの情報

演題応募に関して不明な点は、第 3 回神奈川県臨床作業療法大会 企画演題担当までお問い合わせ下さい。

## 第3回 神奈川県臨床作業療法大会 事務局

横浜 YMCA 学院専門学校 作業療法科

〒231-8458 神奈川県横浜市中区常盤町1-7 TEL : 045-641-5785 (直通) FAX : 045-664-4018

E-mail : rinsho3rd@kana-ot.jp ※演題応募用のメールアドレスではありません。

[rinscho3rd-entry@kana-ot.jp](mailto:rinscho3rd-entry@kana-ot.jp) ← ※演題応募用メールアドレスはこちら

# 研修会 開催報告

## 明日から使える環境調整スキル研修

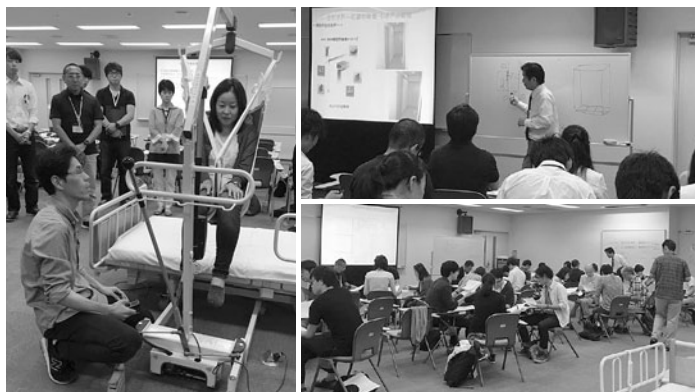
福祉用具対策事業班では、福祉用具に関する会員向け研修会として、「明日から使える環境調整スキル研修」を年間5回のシリーズに分けて実施しています。

6月には「住環境編」が行われました。PTの田治先生から環境整備と連携について、OTの糸田先生からトイレや浴槽の調整について、建築士の浅井先生から住宅改修の視点について学ぶ内容でした。特に、実際に住宅改修を行う建築士の視点は、受講者の皆様からも「聞く事が出来てよかった」とのご意見を多数頂いています。

8月には「シーティング編」が行われ、リハ工学技師の児玉先生から車椅子の構造とバランスの調整や座クッションの選定、PTの森田先生から身体と車椅子の適合についての講義と実技でした。実技では、股関節拘縮や膝関節拘縮の患者体験が出来るサポーターを使用した身体寸法などを行って頂き、受講者の方から実技が多くてとても良かった



第3回 移動編の様子



第1回 住環境編の様子



第2回 シーティング編の様子

たご意見を頂きました。

そして9月には、車椅子駆動の調整や屋外へのアプローチに関わる福祉用具について学ぶ「移動編」も行われ、本年度は、第3回まで研修が開催されています。本研修会では、講師の先生から実際の事例の話や、制度に関わる話、リハセンターや福祉用事業者との連携の話など、具体的な話を聞く事に加えて、実技が多い研修になっています。また、PT士会との共催で運営していることで、さまざまな分野の先生から話を聞く事が出来る様に企画されていることと、福祉用具業者の皆様のご協力により、実技が充実出来るようさまざまな福祉用具を準備しているところが特徴です。本年度は、11月の「起居・移乗編」と12月の「重度障害者の環境調整編」の残り2回となっています。ご興味のある方は是非ご参加ください。

### 生活行為工夫情報モデル事業参加のお願い

様々な現場（地域生活や、病院、施設）の中で、患者様・利用者様の『生活行為』が行われています。その『生活行為』の行いにくさに対して会員の皆様、解決に向けた様々な工夫をされていると思います。

その『工夫の情報』をWeb上で情報を集め、OTで共有していこうとする事業を行っています。

情報提供があつてこそ成り立つ事業となっております。まずは、福祉用具相談支援システムに登録をしてみてください。既に100件以上の情報が登録されています。まずは『福祉用具相談支援システム』へ登録し、ご一読ください。 <https://www.jaot.info/>

(文責：制度対策部 福祉用具関連事業班 石渡・中村)

# 各部からの報告

## 認知症対策委員会 「認知症をにんちしよう会」@ハルネ小田原

認知症対策委員会は、平成 29 年 10 月 1 日（日）に小田原駅東口地下街ハルネ小田原にて開催された「認知症をにんちしよう会」イベントにおいて、「神奈川県作業療法士会」としてブース出展とステージ発表を行いました！

このイベントは、県西地区の行政とさまざまな職能団体とが協力して市民への認知症の普及・啓発を目的に平成 27 年から開催されていて今年で 3 年目の開催となります。

神奈川県作業療法士会のブース出展では、語想起課題を行い、景品に委員手作りの「お花マグネット」をプレゼント☆ 綺麗で可愛いと大好評でした。

また、この時に県士会パンフレットを配布したりアンケートも行いました。

アンケートの設問は「あなたは作業療法を知っていましたか？」「あなたの年齢を教えてください」の 2 問で結果はグラフに示した通りとなりました。

88 名の方にお答えいただき、60 歳以上の方が 3/4

を占めました。

来場者の中に、「作業療法」という言葉は知らなかったが、ご家族の入院中に心身ともに支えてもらい大変良くしてもらった職員が作業療法士だったのではないかと感謝の気持ちを伝えてくださった方もいらっやって、私たちもとても嬉しく思いました。

同時並行課題を行ったステージ発表では、真剣な眼差しと笑い声が交錯して大盛況でした！

当日は、近隣施設に勤務する作業療法士の方も複数名ご来場いただき、とても心強かったです。お忙しいなかお立ち寄りくださいましたことに感謝申し上げます。

こちらのイベントでの詳細は、神奈川県作業療法士会公式ウェブサイトの「県士会活動☆あらかると」にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

来年のイベントでは、さらなるバージョンアップをめざしてガンバリマス☆

(文責：認知症対策委員会担当理事 佐藤良枝)



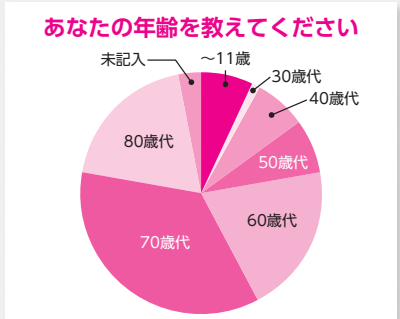
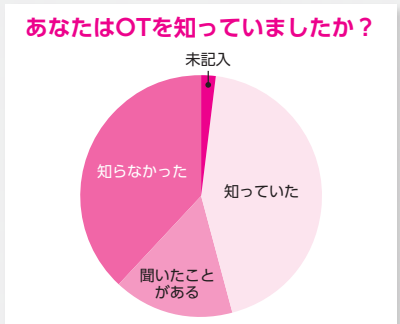
ステージ発表



ブース「頭の体操」



認知症対策委員会



アンケート結果

## 福利部

### 職場見学会 ～見て・聞いて・体験して～

#### 就労継続支援 B 型「NEXT STAGE」

9月11日(月)に就労継続支援B型「NEXT STAGE」にて職場見学会を開催しました。「NEXT STAGE」は精神科病院に勤務されていたOTの加藤祐さんが精神保健福祉士と共に立ち上げた事業所です。(県士会ニュース前号掲載の「スポットライト～OTの生き方～」にその経緯が書かれています)

事業所は横浜駅から徒歩約15分というアクセス良好な立地にあります。フロア内は居心地の良い空間に整えられており、和やかに会話する方、作業に集中している方、数名で協力して一つの作業に取り組んでいる方たちなど、様々な利用者さんの姿が見られました。

最初に、代表である加藤さんから事業所の概要を説明して頂き、その後実際に事業所で作製しているリハビリ用品を見せて頂いたり、カッティングシールの剥がし作業の体験(これがなかなか難しい…!)をさせて頂きました。その他、利用者さんたちが行うマニュアル作りなどのパソコン作業や、外部会社からの委託で行っている領収書仕分け作業などの説明をして頂きましたが、就労における実際の業務とほとんど変わらない内容の作業が用意されていることに驚かされました。各々が希望する

作業を自分のペースで行うことができ、かつ必要な時に仲間やスタッフに相談できる環境が整えられていることで、着実に就労へのステップを踏むことができるように感じました。

また、加藤さんのお話の中で印象的だったのは、事業所においてOTが他職種から期待されていることの一つとして「病状を的確にアセスメントし、一人一人の状態に応じた支援を考えられること」を挙げられていた点です。支援の実際においては、就労に関連する作業を行いながらアセスメントするトップダウンの視点と同時に、対象者の病状も的確に捉え、ボトムアップ的な視点からのアセスメントも欠かせないため、その点において精神科病院の勤務経験を生かして強みを発揮されているように思いました。

就労を望む方の次のステージへの架け橋となるべく、自ら事業所を立ち上げた加藤さんの取り組みからは、日頃の支援にも活かせる多くの示唆を頂いたように思います。就労支援に携わっている方・関心のある方は、ぜひ一度見学されてみてはいかがでしょうか。

(文責：福利部 会員交流班 松岡太一)



事業所入り口



体験の様子



作製しているリハビリ用品

## 地域リハビリテーション部

### 【地域リハ部主催 研修会日程】 難病リハビリテーション講習会

日 時：2018年3月11日（日）10：00～16：30  
会 場：ウィリング横浜

### PT・OT・ST 県士会主催 地域包括ケアシステム三士会合同研修会

日 時：2018年2月25日（日）  
会 場：横浜ワールドポーターズ  
イベントホールB（予定）

### 地域リハ部主催 地域リハ人材育成研修会：介護予防編

神奈川県作業療法士会、地域リハビリテーション部主催である「知ってみよう！地域における作業療法の役割（地域リハビリテーション人材育成研修会：介護予防編）」が平成29年10月8日（日）にウィリング横浜にて開催されました。本研修会には、39名の地域での作業療法士の役割について関心がある方が参加されました。

地域リハビリテーション部の遠藤理事によりますと、昨今、地域リハビリテーションへの関心は高まっており、各機関誌においても特集で取りあげられる機会が多くなっている印象を受けます。生活を支援する作業療法士の活躍が、病院・施設などのフィールドが中心となっていて、地域で暮らす生活者への関わりは限りなく少ないことが課題として挙げられております。そこで、本研修会の目的は、神奈川県の施策においても介護予防や未病対策が積極的に進められている中、県民が住み慣れた場所・地域でその人らしく生活していただくために、私たち作業療法士ができることは何か、を確認することとされました。

本研修会では、介護予防事業の目的から作業療法士として役割、活用方法について、各地域における実践例も踏まえながら講師の先生方からお話がありました。改めて、国民が住み慣れた地域でその人らしく生活するための地域包括ケアシステムの軸の一つである介護予防が重要視されていると感じました。その中で、講師の先生方が、病院や施設、行政に所属しながら、地域のサロンや自治会の方達へ向け、その地域や集団の特性に合わせた介護予防事業を展開されていることに感銘を受けました。

具体的には、横浜市では神奈川県理学療法士会・言語聴覚士会とも協同し、役割を分担した上で介護予防事業展開されています。その中で、作業療法士は生きがいの探索や生活行為の把握、自助具の紹介など作業療法士としての強みを発揮されていることに参考になると同時に一対多の関わりの難しさを感じました。

今後は、私も講師の先生方のように作業療法士としての強みを発揮し、国民がいつまでも住み慣れた地域でその人らしく生活できるような地域での関わりを持っていきたいと思いました。

最後になりますが、本研修会を運営された地域リハビリテーション部の先生方に、心より感謝を申し上げます。



### OT 協会主催 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援 総合事業に関する人材育成研修会

9月9日、10日の二日間で日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会主催の「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」が開催されました。各都道府県士会から代表2名と条件で神奈川県作業療法士会からも2名代表を出して参加してきました。

初日は制度施策の動向、総合事業でのMTDLPの活用方法などの座学、二日目は各士会の総合事業の取り組み紹介および事例を通して地域ケア会議の模擬実習と、第三回目の人材育成研修会は実践的な内容に力点を置いた構成となりました。

市区町村での実施状況に差が大きく世間的にはまだなじみが薄いように感じますが、今年度より全国の市区町村で介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。



地域リハビリテーション部

この事業の趣旨として厚生労働省は「総合事業は、市区町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支えあう体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とするもの。」としています。介護保険制度における介護予防とは「要介護状態になることの予防と、要介護状態の悪化予防。」の二点が含まれますが、総合事業で対応するような地域に在住されている高齢者の支援では、協会では特に「IADLの自立」、「生活不活発病予防。」への取り組みに力を入れてほしいとのことでした。

地域住民の評価や助言に対しては生活行為確認表や興味関心チェックリストなどMTDLPの習得および活用が有用であり、各士会に対してはMTDLPの推進が強く求められております。

地域会議での作業療法士の役割は自立に向けての助言はもちろんのこと、作業療法士の専門性を発揮するために周囲の意見をまとめるような司会者的な存在が求められるそうです。

その人らしい生活支援はどの職種よりも作業療法士の得意分野ですし、作業療法士としての日常の臨床業務に励むことは総合事業でも強く生かせると感じました。

神奈川県訪問ネットワークミーティング  
2017 開催報告

8月10日にウィリング横浜で神奈川県訪問ネットワークミーティング2017が開催されました。本研修会は毎年開催されております。今回は『活動・参加』に焦点が当てられ、事例を通してグループディスカッションが行なわれました。参加者は県内のPT・OT・ST合計30名(内OT15名)で、訪問リハに従事している方だけでなく病院勤務の方も受講されておりました。



〈参加者から〉

第4回神奈川県訪問リハビリネットワークミーティングに参加しました。

テーマは、成功事例から「活動参加」を学ぶ、作る、考える利用者様や家族のニーズを捉えた、活動参加に結びつくりハビリの考え方をグループワークを通して考え、学ばせて頂きました。

日々の業務の中で、利用者様の能力や環境等の特徴を生かして活動参加に繋がりたいという思いはあっても、なかなか実現することが難しいことも多いですね。

今回の研修では提供された成功事例に対して、目標やリハビリ内容、経過を想像し、活動参加に繋がる結果までも想像して考えました。

また、成功事例に実際に取り組みされたセラピストの先生方にお話をお聞きすることもできました。

そこで気づいたことは、本人とリハビリだけで取り組んでいてもなかなか活動参加に繋がらないということでした。

家族や友人、周りの環境を巻き込み理解を得ていくことが、リハビリを活動参加に繋げるポイントになると感じた研修でした。

神奈川県訪問リハビリテーション学術集会  
事前登録開始

開催日時：2018年1月21日(日) 10:00～16:00

開催場所：横浜市社会福祉センター 4Fホール

事前参加登録：2017年9月1日(金)～

2017年12月31日(日)

定員：300名

参加費：神奈川県作業療法士会 会員 ¥3,000

その他 会員外 ¥6,000

引き続き進捗状況を広報誌またはWEBの方で紹介できればと思っています。

学術集会HP：<https://kana-houmon-rehagakai.jimdo.com/>



地域リハビリテーション部

地域ケア会議や介護予防事業に参加している方  
いませんか

各市町村で総合事業に取り組みが本格化してきています。会員の皆様も地域事業に関わる機会が増えてきますので会員の皆様からも情報を得ながら県士会の事業も進めていければと考えています。ぜひ、会員皆様からも作業療法士が関わっている地域事業がありましたら情報提

供をいただければと思います。地域リハ部だけでなく県士会全体で情報共有していければと思いますのでご協力の方をよろしくお願いします。

ご意見や情報がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡をいただければと思います。

【問い合わせ】 地域リハビリテーション部

Eメール：chiikireha@kana-ot.jp

(文責：遠藤陵晃)

教育部

県士会ウェブサイトから  
質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しずつお伝えしています。

1. 今後の生涯教育制度関連の研修会

※県士会ニュースや県士会ウェブサイトをご参照ください。

1. **現職者選択研修**：必修のMTDLP基礎研修と領域別選択（身体・老年期・精神・発達の4障害領域から一領域：90分×4コマの選択受講が必要）の研修で、生涯教育制度の必須基礎研修です。

また「この先生の話が聴きたい！」とうコマ単位での受講も可能です。今年度の領域別選択は「発達障害領域」を開催します。詳細は今号チラシ、県士会ウェブサイトをご覧ください。

**現職者選択研修 発達障害領域**

日 程：2017年2月11日（日）

会 場：横浜リハビリテーション専門学校  
（JR線東戸塚駅）

- 内 容：① 9：30～11：00 作業療法の実際①  
（0歳～就学前）  
② 11：10～12：40 作業療法の実際②  
（就学・学童期・青年期；6歳～18歳）  
講師 静岡県立こども病院 鴨下賢一 先生  
③ 13：30～15：00 発達障害領域の基礎知識と作業療法の課題と展望  
④ 15：10～16：40 自閉症スペクトラム障害児に対する作業療法の実際（18歳未満）、この領域における先生独自のトピックス  
講師 北里大学 高橋 香代子 先生

2. 現職者共通研修

※以下はすでに広報済みのものです。詳細は県士会ニュース（チラシ）、県士会ウェブサイトにてご確認ください。

・「事例報告と事例研究」12月3日（日）  
横浜リハビリテーション専門学校  
※同日に事例報告登録制度に関する研修（以下）を開催しています。

・「事例検討」と「事例報告」（事例発表会）  
2018年3月11日（日） **ウィリング横浜**  
※ぜひお申し込みと事例報告へのチャレンジを！

3. 「事例報告登録制度に関する研修会」

平成29年12月3日（日）  
横浜リハビリテーション専門学校  
参加費：神奈川県士会 無料！他県士会 1,000円  
※同日に現職者共通研修「事例報告と事例研究」を開催しています。合わせてご参加ください。

生涯教育制度に関してどんなことでもご連絡、ご相談ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）  
046-828-2738（直）、kyoiku@kana-ot.jp



# 生活行為向上マネジメント

## 生活行為向上マネジメントの事例選択について

会員諸氏におかれましては生活行為向上マネジメントの普及推進にご協力いただき御礼申し上げます。

さて、今回は MTDLP の事例選択について記述したいと思います。

基礎研修の中では MTDLP の適用範囲については図 1 に示す通り「高齢者のみでなく、作業療法の一部として・年齢が低い障害者・発達障害・精神障害を有する人達」にも使用が可能であるとしております。

適用の範囲としては「年齢」や「疾病、障害の種類」で制限をされることはないと思われませんが、MTDLP を使用する時期や場面については慎重に選択すべきと考えます。

我が国の介護保険制度におけるケアマネジメントも含め、一般的なケアマネジメント（ケースマネジメント）では、医療措置から脱却している状態いわゆる心身の状態が安定している時期が適しているとされております。

MTDLP とケアマネジメントは異なるものではありません

が、PDCA サイクルを回していく点やマネジメントである点においては共有できる部分があるかと思えます。

また前号にも記載しましたが、チームでの協働が基本となりますので複数職種が関わっている事例が選択されるべきであると考えます。

この条件だけでも MTDLP の使用が限局されてしまう恐れがありますが、まずは上記の条件にあてはまる事例で成功体験を積み重ねてから、別の条件での実践を試してみるのはいかがでしょうか？

### 《今年度の MTDLP 関連研修》

2017 年 11 月 19 日（日）基礎研修（教育部主催）

2017 年 11 月 25 日（土）事例発表

2018 年 2 月 18 日（日）基礎研修

（MTDLP 推進委員会主催）

※詳細はウェブサイトでご確認ください

（文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村修介）

### 生活行為向上マネジメントの適用範囲

**現状・・・**  
**高齢者を主対象とする介護保険領域での適用が中心**

**高齢者のみでなく、作業療法の一部として**

- ・年齢が低い障害者
- ・発達障害
- ・精神障害を有する人達

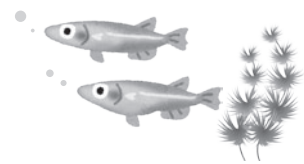
**にも利用可能**

12 MTDLP:生活行為向上マネジメント マニュアルp13

図 1 生活行為向上マネジメントの適用範囲



## ちょっと一杯 どうですか？



### No. 4 「生きている」って感じ

『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれている。

近頃、宇宙にも行ったというメダカを飼っている。水草も何種類かあるようで、砂利を敷いて水を入れると、メダカたちの箱庭が出来上がる。こちらを向いてパクパク口を動かすので、ちっちゃなメダカたちが何だかしきりに喋ってくる。『そっちの世界はドウダイ？』とでも言っているのか、パクパクよく動く。丁度昼。飯の時間だ。メダカの口に合った餌をやる。これまた小さい。こんなんでも満たされるのかお前たちは、と独り言を言ってみる。我が家に同居を許されたメダカ一家に、つつい見とれてしまう。なかなか泳ぎがうまいじゃないか。

身障、精神、小児、老年期と大枠で示されることが多い我々の作業療法分野。どうやら身障分野の作業療法士が圧倒的に多く、次いで老年期分野と精神領域だそう。2016年度の神奈川県内では、身障分野の1207人に対し、それぞれ約1/4～1/5となっている。老年期分野は2013年の543人を境に321人となり、精神分野においては、2010年の533人を境に下降傾向となり232人と、いずれも下降傾向にあるとのこと。既に日本の社会は高齢化となっているにも関わらず、なんとも不思議な現象だ。これらの作業療法士数は、雇用側のニーズを物語っているのだろうか。作業療法士の雇用は得なのか・損なのか。当然、我々の作業療法は、雇用されなければ発揮はできない…。身障分野の雇用率が高い背景の一つには、保険診療体制による影響が少なからずあるのだろうか。そして、老年期分野の減少は、どのような理由があるのだろうか。将来の日本の高齢社会に確実に貢献できる作業療法が、抱える深刻な問題ではないかと考えてしまう。作業療法は看護師さんや介護士さん、社会福祉士さん、ヘルパーさん、他の医療職種ができるものなのだろうか。非常に危機迫る事態のような気がする。

普段、身障分野にいる私だが、先日ちょっとしたことで精神科の作業療法場面を見る機会があった。そこには地域に溢れる精神的適応障害患者さんが大勢集まっていた。自宅にいても、日々の生活上の生産活動や社会的参加活動が中々営まれない方々。でも、作業療法室に来ると何かしらの役割りを貰い、主体的な生産活動が出来る。それぞれが大事な作業を請け、自身の役割りと自立した社会活動に向ける援助をしている作業療法室だ。『何もしないでぼーっと余計なことを考えるよりも、生きているって感覚が出て

くるの…』と、70歳前後の女性が話してくれた。他にも中年層から若い人達も多く、『これは、弟に作っているんです。普段何もしてあげられないし、お世話になっているんで。喜ぶと思います？』と、40歳代の男性はネット手芸を見せてくれた。「素敵なものを作っていますね。きっと弟さん喜ぶますよ!」と、素晴らしい作業を心から賞賛した。ある人は、自身の病名や症状がどんなものなのか、その不適応さが何かを素直に話してくれる。みんな純粋そのものだ。きっと彼らは、それぞれの心の葛藤と向き合い、じっくりコトコト時間をかけて、自分自身の何らかの変化を感じ、生きる道を一生懸命に捉えようとしているのだろう。どうして自分はここにいるのか、ではなくここから自分はどうしていくのか、と。70歳前後の女性が言ってきた。『死んじゃったほうが良いんじゃないかって、そんなことを真剣に思っていたの。変な考えを起こしそうになって～中略～、それでなんかいい薬でもないかと思って受診したらね、作業療法を勧められたの。本当に良かった。ここに来てから、生きているって感じがしてね。私、作業療法に救われたの。本当に助かったの。あ、ごめんなさい、変なこと言っちゃって。でも本当なの』

作業療法って、目に見えないけど価値あるものって沢山あると思う。一人ひとりの身体的や精神的な不適応に対して、集団や個別と手段を巧みに使い分け、最終的に個々の患者さんたちへ必ず還元する。それぞれが懸命に今を生きている環境、そして内面に霞む空気を感じ取って、その時その瞬間の適切な対応を選択していく。決して診療報酬点数に左右されず、目の前にいる患者さんの抱えている“障がいや困難さ”に向き合い、乗り越えるために必要なことを一生懸命に考え、課題を整理し、出来る治療手段は何かを冷静に判断し的確に提供する。いくら医学の進歩があっても、全てにおいて決して万能ではない。作業療法も、幅広い分野に跨る中で“できること”も“できないこと”も沢山あるけど、異なる領域にいる仲間たちとお互いに補助したり、補強したり、目の前にいる対象者を支えることができるのは、作業療法ならではの素晴らしさだ。だれもが『生きている』って気持ちを育む療法士が作業療法士かな。

今回も登場した“おじちゃん”。OTを一生涯の仕事と決意し、長いOTの歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。

(文責：ペンネーム おじちゃん)

# 理事会報告

## ★平成29年（2017年）度第3回理事会議事録

- I. 日 時**：平成29年9月14日（木）19：00～21：30  
**II. 場 所**：神奈川県作業療法士会事務所  
**III. 出席理事**：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・野本・名古屋・作田・村越・澤口・佐藤・大郷（17名）  
**出席監事**：田中・糊沢（2名）  
**その他**：魚岸・明立・平山（事務局）甲本（ウェブサイト管理委員）

### IV. 公益法人化に関する研修会

講師：奥津公認会計士事務所 本田武志氏  
 当会の中長期計画にある公益社団法人への移行を検討するため研修会を開催した。公益法人を目指す目的、公益法人となった後どのような事業を行いたいのかを今後も検討していく。

### V. 審議事項

#### (1)事務局

- 1) 選挙管理委員の承認 池田公平（委員長）・宮沢優・横山早紀・森川慎吾・廣瀬智哉→承認
- 2) 代議員選挙の流れについて ウェブサイトでの公示を先行させる（紙媒体での公示は希望の施設・個人へFAX）。
- 3) 後援依頼 湘南リハケア 2017「福祉用具体験会～わかるかわる できる～」→承認

#### (2)広報部

- 1) 作業療法啓発推進活動『作業療法啓発コラボ企画』『イベントスタッフ派遣会員』事業（案）の検討 各理事のネットワークを活かし、各地域のイベント情報を集めていく。また、県士会活動に参画していない、単発の関わりなど参加しにくい会員の参画を促していく。→継続審議

#### (3)福利部

- 1) 神奈川県作業療法士協会の表彰について 社員総会で実施していく→承認

#### (4)地域リハビリテーション部

- 1) 部員の承認 増子拓真、重森七美→承認

#### (5)ウェブサイト管理委員会

- 1) 県士会サイト・常時SSL化導入について セキュリティ強化を図る→承認

#### (6)学会評議員

- 1) 部員の承認 岩切美穂子、荻野祥代、白熊千裕、戸塚香代子、濱口陽介→承認

#### (7)生活行為向上マネジメント推進委員会

- 1) 部員の承認 机里恵、三嶋直己、大沼 涼、木村嘉子、藤井真人、平石 暢之→承認

### VI. 報告事項

#### (1)事務局

- 1) 神奈川県保健医療計画推進会議脳卒中医療連携検討部会 吉本理事士会代表で参加中

#### (2)財務部

- 1) 中間監査 10/14 に実施

#### (3)学術部

- 1) 今後実施研修会
  - ① 「高次脳機能障害のある方の生活の診方と支援」 11/5 会場：ウィリング横浜 講師：野々垣睦美氏
  - ② 「脳血管障害に対する上肢機能の新しい評価（仮）」 12/17 会場：ユニコムプラザさがみはら 講師：高橋香代子氏
  - ③ 「リハビリ職に必要なマネジメントの実践（仮）」 2018年1月（未定）会場：未定講師：澤田辰徳氏
  - ④ 「脳血管疾患に対する運動機能改善のアプローチ～1単位で効果の示せる片麻痺への介入方法～」 2018/3/11 会場：横浜 YMCA 学院専門学校 講師：田邊浩文氏

- 2) 研究助成事業 申請代表者：丸山祥氏（ふれあい平塚ホスピタル）研究分担者：ボンジェペイター氏（首都大東京）、神保洋平氏（茅ヶ崎リハ）、笹田哲氏（神奈川県立大学）研究課題名：作業療法学生に対するクリニカルリーズニング評価の予備尺度の開発—構成概念の検討と呼び尺度の作成—

#### (4)教育部

- 1) 今後実施研修会
  - ① 「作業療法における協業・後輩育成」 講師：岩上さやか氏「職業倫理」 講師：糊沢直美氏「保健・医療・福祉と地域支援」 講師：田中ゆかり氏「日本と世界の作業療法の動向」 講師：神保武則氏 11/5 場所：ウィリング横浜
  - ② 事例報告と事例研究 講師：水野健氏 12/3 場所：横浜リハビリテーション専門学校
  - ③ 「事例検討」、「事例報告」 2018/3/11 場所：ウィリング横浜
  - ④ 「MTDLP 基礎研修」（現職者選択研修 必須テーマ） 11/19 場所：ウィリング横浜 講師：木村修介氏
  - ⑤ 「発達障害領域の作業療法」 2018/2/11 場所：横浜リハビリテーション専門学校\*内容企画中
  - ⑥ 事例報告登録制度に関する研修会 12/3 場所：横浜リハビリテーション専門学校講師：奥原孝幸氏

#### (5)地域リハビリテーション部

- 1) 今後実施研修会
  - ① 「地域リハビリテーション人材育成研修会地域包括ケアシステム編」 11/26 会場：横浜リハビリテーション専門学校
  - ② 「難病リハビリテーション講習会」 2018/3/11 会場：ウィリング横浜 \*変更あり

- ③「地域における特別支援学校など講習会」11/18 \*変更あり会場：横浜リハビリテーション専門学校
- ④「神奈川県訪問リハビリテーション学術大会」2018/1/21 会場：横浜市健康福祉総合センター
- ⑤「地域包括ケアシステム三団体合同研修会」2018/2/25 会場：ワールドポーターズ

**(6)制度対策部**

- 1)福祉用具関連事業班
  - ①生活行為工夫情報モデル事業 事例投稿を全会員より募集中
  - ②自動車運転とOT 7/27 より県士会サイトにてアンケート依頼およびアンケート用紙の掲載開始
  - ③特別支援教育とOT 6/29 より県士会サイトにてアンケート依頼およびアンケート用紙の掲載開始
- 2)災害対策事業班
  - ①会員被災状況確認システムのデモ運用の実施延長について 11月下旬へ変更

**(7)学会評議委員会**

- 1)第3回神奈川県臨床作業療法大会 2018/7/29 会場：はまぎんホール大会長：三浦美紀氏（横浜 YMCA 学院専門学校）

**(8)認知症対策委員会**

- 1)ブログ開設  
「オレンジ☆マルシェ ひとりひとりがサポーターby認知症対策委員会」

**(9)地域包括ケアシステム推進委員会**

- 1)横浜市派遣依頼について（8/26時点）派遣依頼：48件、派遣実績：8件
- 2)今後実施研修会  
「地域包括ケアシステムにおける公的保険外サービスの展開（仮）」2018年3月予定 講師：杉村卓哉氏  
以上（文責：明立・魚岸・金山）



# 求人案内

## 医療法人社団 博奉会

- 1. 相模ヶ丘病院（精神科・心療内科）**  
相模原市南区下溝 4378 番地  
小田急線相武台前駅から送迎バスあり  
JR 相模線下溝駅から徒歩約 10 分

- 2. 就労継続支援 B 型事業所クロプファ**  
座間市相武台 1-35-25 プランドール壺番館  
小田急線相武台前駅北口から徒歩約 3 分

※勤務先は相模ヶ丘病院、就労支援 B 型事業所クロプファのいずれかとなります

募集人員：各 1 名 常勤 平成 30 年度新卒者歓迎！  
待遇：昇給年 1 回、賞与年 2 回（昨年度実績）交通費全額支給、退職金規程有、社会保険完備  
給与：219,000 円～  
（諸手当含む。住宅手当等当院規程により別途）  
勤務時間：9：00～17：00  
（配属部署により 12：00～20：00 勤務もあり）  
免許：普通自動車運転免許あれば尚可  
休日：年間休日 110 日（平成 29 年度）、有給休暇、夏期休暇（3 日）、年末年始（5 日）、特別休暇  
応募方法：随時電話連絡の上、履歴書（写貼）持参又は郵送下さい。

**問い合わせ先** 採用係 TEL：042-778-0200（相模ヶ丘病院） Email：soumuhp002@hakuhou-kai.or.jp  
URL：http://www.hakuhou-kai.or.jp

## 研修会案内

### 作業療法地域連携会@ sagamihara ～第 21 回研修会～

主 催：作業療法地域連携会@ sagamihara  
 日 時：2017 年 12 月 3 日 (日)  
 場 所：北里大学医療衛生学部  
 U R L：http://sagamiharaot.jimdo.com/

### リハ専門職の自費活動におけるポイントと継続運営 ～コンプライアンスと継続性を中心に～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2017 年 12 月 10 日 (日)  
 場 所：中央労働基準協会ビル  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1500697493-940167

### アクティビティ インストラクター資格認定セミナー

主 催：認定 NPO 法人 芸術と遊び創造協会  
 高齢者アクティビティ開発センター  
 日 時：2017 年 12 月 16 日 (土)  
 場 所：中野サンプラザ  
 U R L：http://www.aptycare.com/instructor\_ tokyo.html

### ポジショニング R.E.D. セミナー 理論編×実技編 ～微小重力環境でおこなう筋緊張制御～

主 催：日本ユニバーサル リハビリテーション協会  
 日 時：2018 年 1 月 6 日 (土)  
 場 所：八王子市芸術文化会館いちょうホール  
 U R L：http://universalreha.com/

### 訪問リハビリテーション入門～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 7 日 (日)  
 場 所：中央労働基準協会ビル  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1501495957-360296

### 高次脳機能を意識した理学・作業療法計画 1 ～注意、記憶・認知機能障害～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 8 日 (月・祝)  
 場 所：中央労働基準協会ビル  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1501496344-332669

### 中枢神経系疾患に対する上肢機能アプローチ ～明日からの臨床に活かせる各種症状への具体的介入 を治療動画・実技練習で学ぶ～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 21 日 (日)  
 場 所：全国家電会館  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1501219192-704592

### ものづくりシーティングセミナー

#### 原理編×工房実技編～シートクッションをつくろう～

主 催：日本ユニバーサル リハビリテーション協会  
 日 時：2018 年 1 月 21 日 (日)  
 場 所：八王子市芸術文化会館いちょうホール  
 U R L：http://universalreha.com/

### 肩関節拘縮の見方と運動療法～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 27 日 (土)  
 場 所：株式会社 日本印刷会館  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1499074335-083695

### 触診～関節の機能解剖～手関節周囲～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 28 日 (日)  
 場 所：東京都左官工業協同組合 (飯田橋升本ビル)  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1503451952-500542

### 老人保健施設におけるリハビリテーションのあり方 ～平成 30 年度医療・介護保険制度同時改定の本質の 理解と原点回帰～東京会場～

主 催：株式会社 gene  
 日 時：2018 年 1 月 28 日 (日)  
 場 所：株式会社 日本印刷会館  
 U R L：http://www.gene-llc.jp/seminar\_ info/?id=1503110073-556578



## 第16回神奈川県作業療法学会報告

大会長（神奈川県立保健福祉大学） 玉垣 努

7月2日の暑い最中に横須賀において第16回神奈川県作業療法学会を**盛況のうちに無事閉会いたしました。**今回の参加者556名と多くの参加があり、活気に満ちた学会となりました。臨床での貴重な知見をご発表いただきました演者の皆様をはじめ、座長の方々、示唆に富むご講演を賜りました講師の皆様、**ご参加いただいたみなさま、本当に有難うございました。**また、学会の開催にあたり、ご支援・ご協力いただきました多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

前向きなテーマが良いということで、多少の不安もありましたが、今回の学会のテーマを「選択する未来」として開催させていただきました。ポスター発表では、皆様のおかげで熱気のある意見交換の場が作られており、多様な臨床での疑問や研究や工夫を共有することができ

ました。また、特別講演や各領域における教育講演やシンポジウムにおいても多くの示唆をいただき、明日からやるべきことをしっかり見据えた未来への希望に満ちた学会となりました。県民公開講座では「地域における生活支援」をテーマに大いなる示唆をいただき、作業療法士が実践できる地域貢献への道筋が示されたものと考えています。

特に若い県士会員の皆さんが多くの発表をされ挑戦していただいている姿を見て、たのもしく思っていました。本学会が、近年の作業療法を取り巻く厳しい環境の中で、より価値のある作業療法を選択するための一助になったかと考えています。

最後に、実行委員および運営に携わった皆様は大いに感謝いたします。

### 事務局からのお願い

- **休会される方** 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**（末日消印有効）までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います。**(FAX不可)**。
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。**(上記日必着)**。
- **届出内容を変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。**(随時受付)**。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

## 編集後記

もうすぐ師走ですね。忙しい一方で、1年を振り返り、次の目標を考えるキラキラした時期だと思えます。私の2017年はギターに挑戦するなど新しい事を始めた年でした。皆さまはどんな1年だったのでしょうか。これから寒さが厳しくなりますが、体調に気を付けて乗り越えていきましょう！少し早いですが、皆さま良いお年を！

(さとめぐ)

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (188号)2017年12月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之  
 編集責任者 神保 武則  
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)  
 山岡 洸(新戸塚病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院)  
 安田 優子(横浜旭中央総合病院) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)  
 井部 賢吾(北里大学東病院) / 松井洋鷹(渚野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所  
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号  
 TEL/FAX : 045-663-5997  
 月火水木金 10:00~15:00  
 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<http://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

